

高齢者の方々が日常の生活に困っていることが、ごみの分別もありますし、冬期間の雪の処理もございいます。そういうものをどのように支援していくのがいいのか、そういうものも行政、また、各施設等と連携をしながら取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

笠原議員。

○2番（笠原幸江君）

よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。これで私の一般質問を終わります。

○議長（倉又 稔君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

関連質問なしと認めます。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。〔7番 田中立一君登壇〕

○7番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一でございます。

発言通告に基づいて1回目の質問をさせていただきます。

1、北陸新幹線系魚川駅・えちごトキめき鉄道開業後の課題について。

(1) 北陸新幹線沿線の騒音・振動について。

鉄道・運輸機構は、北陸新幹線沿線住民の苦情を受け、騒音・振動の2次測定調査を実施したが、その結果と対策を市はどのように捉えているか、考えを伺います。

沿線住民の苦情や要望を市はこれまでどのように調査し、対応してきたか。また、今後はどのように対応するか伺います。

(2) 北陸新幹線系魚川駅の利用状況について。

7月に実施した市の独自調査の結果をどのように捉えているか。また、上越妙高駅など他の新幹線駅の利用客調査と比較してどう考えているかを伺います。

系魚川駅利用客の駅及び駅周辺等に関する感想や要望について調査されているか。どのように捉え、対応しているかを伺います。

(3) えちごトキめき鉄道について。

日本海ひすいラインの通勤通学時の混雑緩和については、現在どのような対策が考えられているかを伺います。

開業前と比較して、利用客数についてどのように捉えているか伺います。

2、農業政策について。

(1) 農協改革について。

先月28日、参議院で農協法改正案が可決され、来年4月から施行されます。「農業所得の向上が目的」といわれますが、地域農協と農業者の連携がますます重要となり行政にも影響が大きいと思われます。市はどのように捉えているか伺います。

仮渡金について。

今年から仮渡金の決定方法が変わりましたが、当市においては米価への影響をどのように考えるか伺います。

(2) 有害鳥獣対策の取組状況について。

昨年12月に制定された県の「特定野生鳥獣の管理及び有効活用の推進に関する条例」に対する市の取り組みはどうか伺います。

電気柵の効果と課題について伺います。

(3) 耕作放棄地の課税強化が検討されています。進まない農地の集積が背景にあります。が、「耕作したくてもできない」「担い手がない」「借りてくれない」が現状であり、「中山間地いじめ」とも言われます。

また、基準緩和による多様な土地利用が必要とも言われますが、市ではどのように考えているか伺います。

以上1回目の質問、よろしくお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目、柱道地区につきましては、2次測定範囲を拡大して調査中であり、梶屋敷地区につきましては、2次測定の結果が出ており地元自治会と連携し、鉄道・運輸機構と調整を図っております。

2つ目につきましては、市へ寄せられた苦情や要望等により状況を確認し、問題解決に向けた対応を鉄道・運輸機構へ求め、必要に応じて地元説明会を開催いたしております。

3つ目につきましては、電波障害のほか高架下の排水処理や除草などの要望があります。

2点目の1つ目につきましては、ほかの駅と比較して数字的には少ない状況ですが、市内の主要施設の入り込み客数は伸びており、新幹線開業による効果が出ているものと思っております。

2つ目につきましては、アンケートなどの調査は行っておりませんが、新幹線改札口付近での椅子の設置等の要望があり、JR西日本へ要請しております。

3点目の1つ目につきましては、車両の増設をえちごトキめき鉄道へ引き続き要望してまいります。

2つ目につきましては、特急がなくなったことから、開業前との比較は難しい状況であります。

2番目の1点目の1つ目につきましては、農協と農業者が連携し、農村の活性化に取り組むことが不可欠であり、行政も一体となって推進してまいります。

2 つ目につきましては、先般、ひすい農協から地域の実態に基づいた単価が示され、農業者の生産意欲と所得の向上につながるものと考えております。

2 点目の 1 つ目につきましては、近年、生息域が拡大している野生鳥獣からの被害防止のため、県や猟友会など関係団体と情報共有し、パトロールなどを実施いたしております。

2 つ目につきましては、電気柵はイノシシ等の有害鳥獣から農地を守る効果がありますが、設置や撤去に要する労力が大きい割に、根本的な解決策にならないという課題があります。

3 点目につきましては、現時点では国から詳細が示されていないことから、情報収集に努めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もございまして、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7 番（田中立一君）

再質問をお願いします。

新幹線の騒音と振動の問題に関して、被害に遭われている住民の多くの方は、日常生活に悩まされ、困って、精神的にもまいっておりますし、ストレスを抱えて憤っております。

なぜ憤っているかと言うと、まず、これまであまり話にみえない、測定調査の説明らしい説明がない、誠意がみえない、説明会においても上から目線に感ずる、補償の内容に納得がいかない、一体いつまで待たせるのかなどなどであります。

その矛先は、今、行政のほうにも向けられ、市は我々の悩みに耳を傾けてくれない、聞きに来ないと不信感を募らせております。このような声を聞きますが、市としては、その辺の認識はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えいたします。

今ほど議員が言われたとおり、鉄道・運輸機構の対応についてはなかなか見えてこないという面が確かにございます。今も 2 次測定の範囲等を追加して行っておると聞いてはおりますけれども、その範囲だとか、そういうものについては一応、非公開だという形をとっております。

そんなことから、その辺もやはり不信感につながっておるんだろうというふうに私たちも考えており、この辺のことは、やはり鉄道・運輸機構に強く申し入れをしていかなければいけないというように思っております。

それとまた、今ほど言われた行政も意見等、何も聞きに来ないという点については、確におっしゃるとおりかと思えます。その辺についても手厚いやはりそういうものを、今後、していく必要があるというふうに考えておりますので、今まではちょっと手薄だったところについては手厚くやはり意見を聞くなり、そういう対処をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

今、いろいろと手薄だった、あるいは鉄道・運輸機構の対応のほうも非公開等があって、なかなか情報が見えないと。そういう話の中で、やはりこれはスピードを争う案件だというように思います。このことについては、もう昨年以來、特別委員会でも課題として取り上げて報告もいただいたり、また、私、今回の6月の議会でも一般質問で取り上げて、市民の立場に立って考えていかれるような答弁もされておられました。ぜひその辺を、さらにやっていただきたいと思います。

6月16日には県議会でも報告されて、県のほうでも関心を寄せておられました。交通政策局長が、その後、現地を訪れたと聞いております。そのときの様子はいかがだったでしょうか。それで局長をどなたが案内されたのかですけれども、被害に遭っておられる住民にはお会いしておられるのかどうか。住民からどのように困っているか等、直接話を聞かれたかどうか。また、来られているときに騒音を直接体験されたかどうか、そういったことをどのように受けとめられたか、総合的なご答弁をお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えいたします。

局長が見えられたときは、実際、現地も行っております。ただ、そのときは住民の方とはお会いしてはしなかったというふうに記憶しております。時間的な問題もございまして、直接、新幹線が通った時間帯ではなかったというふうに記憶しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

局長はどのような受けとめ方をされたか、その点はいかがだったでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

やはり問題があるということで、6月24日になりますが、県と市とともに鉄道・運輸機構のほうに、長野事務所になりますけども、申し入れを行っておるという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

そのことについて、また後で伺います。

2次騒音調査ですけれども、梶屋敷のほうはもう結果が出たと。地元の説明のほうもされてるといことで、柱道、小見地区のほうは、6月24日から調査に入っているが、まだ調査は終わっていないと。この調査の時間の違いというのは、まさか梶屋敷のほうは富山事務所で、能生のほうは長野事務所だからということはないと思うんですけれども、1カ月半も時間差があるのはなぜなのでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

2次測定のはかり方なんですけども、当初、2次測定をやった家屋で騒音が超過しとった場合に、また1つ先へ、それが超過しとった場合に、また先へというような方法をとっておることから、やはり一番最初に設定したところの区域から離れれば離れるほど、騒音が大きければはかるのに時間がかかっておるといような状況からやはり違いが出ておると、一番最初に2次測定をやったのが、梶屋敷のほうは早く行っておるといところもありますので、その辺のところ、差が出ておるのかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

もう1次測定において基準を超えた場所とか、そういったものはある程度、特定されているんじゃないでしょうかね。ですから、もう同時に測定に入っていくことができたんじゃないか、そのように私は思うわけです。

新聞報道を見ると、1次測定で基準を超えた場所だけではなくて、住民から測定の要望があった場所でも調査すると鉄道・運輸機構は述べていると。今、課長の答弁は、そのことも含まれているのかなというふうに感じたんですけれども、同じ沿線のほうで上小見地区でも騒音が気になるところが結構あるんですけれども、騒音調査には来ていないというふうに聞いているんですけれども、そういった地区別の測定の場所というのは、市のほうでは全部把握されているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

2次測定の最初の場所については、鉄道・運輸機構のほうから情報を得ておりまして、上小見地区についても対象は3件だといことでございまして、これについても今のところ、まだ2次測定には、多分、入ってはいないといことではございます。各地区ごとの2次測定の第1回目の測定の情報については、一応、全部把握してるといつもりでございまして。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○ 7 番（田中立一君）

この新聞報道にある住民からの要望、測定をしてほしいとかそういった要望等は、誰が、どのように把握して、測定に入っていくんでしょうか。全部、鉄道・運輸機構のほうでされているのか、それとも住民からいろんな形で出ているのを把握されているのかどうか。どうもそういうふうには見えないんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○ 定住促進課長（渡辺 勇君）

基本的に、住民の要望があるかないかは別として、機構としては 2 次測定をやった段階で超えておれば、その次へまたはかる、2 次測定をやる。そこでも超えておれば、また次へはかっていくという方法をとっております。その中で、例えば 2 次測定外になっておっても、住民の方がここもはかってもらいたい、2 次測定してもらいたいというところについては、個別に対応するという形をとっておりますので、説明会とかそういうところで、私もお願いしますというようなことであれば、それは対応しておりますし、説明会以外でも市、それからまた関係区長さんなりにも、そういう話があれば鉄道・運輸機構のほうへ対応をお願いするという形をとらせてもらっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

田中議員。

○ 7 番（田中立一君）

歩いていろいろと聞いていると、かなりいろんな方から困っている話を聞くわけです。結局、こちらのほうから、市のほうからでもいいんですけども、出向いていろいろと聞く。その姿勢が、まず大事なんじゃないかなと。そうしないと、やっぱり住民のニーズというものは個々にありますし、また、ただ単に近いところよりもちょっと離れた、角度によって音や振動というものは違うので、行ってみないとやっぱりわからないというのがあります。ぜひその辺をやっていただきたい。

今、測定の時間がかかる話、いろいろとされてましたけれども、そんなに時間のかかるものなのかなというのがあるわけなんですけど、この間、マスコミも大勢取材に来て、NHK が新潟大学の教授を伴って 1 日測定したことがありましたけれども、もうその日のうち、帰られるときに、もうこの調査はこうだったと、こういう結果が出たというのをすぐ示してもらったというふうに聞いております。

そういうのを聞くと、もうある程度の場所がわかっていくと、そういう調査結果というのは、じゃあいつごろ終わって、この結果をどのように今度は住民に説明していくか、そういう段階がもう見えてるんじゃないかと、また、見えてなきやいけない時期じゃないかと思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

測定の方法で、朝6時から最終まで一応20本ぐらいの中を全部はかって、その中の本当に10本程度のところをとって、それから周りの騒音だとか音を全部外した中で、それが最終的に何十デシベルになるかというような形ではかるものだというふうにお聞きしておりますので、そこについては、やはりある程度時間がかかるものというふうには認識しております。

また、今言われたように、確かにはかってから個々に通知だとか、そういうものは確かに時間がかかっておるといふふうに私たちも認識しておるところでございます。もっと早くできないかというふうには思っておるところでございますので、その辺も鉄道・運輸機構に、今後、また強く要望していきたいなというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

先ほどからの幾つかの質問の中で、かなり認識はされているようだなというふうには受け取るんですけども、認識されているなら、もっと早く行動に移していただきたいなと。本当に住民の皆さんは困っております。また、かなりストレスも抱えております。

補償のほうの話をさせてもらいますけれども、基準が70デシベルということで、それを超えた場合が対象ということなんですけれども、これもまた75デシベルを超えると、またさらにランクというんでしょうか、そういう基準も変わるとかって言うんですけども、そういう騒音、振動に關しての補償に対する基準は、住民等には説明等はできているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

住居地域については、環境基準が70デシベル以上ということで、それ以外については環境基準では75デシベル以上という基準がございまして、今回は住宅地域ということで70デシベル以上のものについてはそういう補償だとか、鉄道・運輸機構に言わせると助成と言っとるんですけども、音源対策なり、各個々の家庭の防音対策なりを行っていくというふうにお聞きをしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

ここで改めて伺いますけれども、地元の説明会をしながらというふうに、さっき市長の答弁でもありましたけれども、どの地区に、これまで何回説明会というのをされてこられましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

各地区へは、ことしに入って２次測定を行うという説明会を１回、鉄道・運輸機構の側のほうで行っておるというふうに、各地区には１回ということで認識しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○７番（田中立一君）

各地区というのは、梶屋敷、下小見、柱道の３地区各１回、全部で３回ということですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

鶉石、それから上小見、下小見、柱道、梶屋敷、大和川で、各１回ということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○７番（田中立一君）

この中に鶉石がありましたけれども、鶉石で困っている住民に聞いたら説明会は聞いてないよというふうに、先日、私、聞きましたけれども、違うんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えいたします。

５月１８日、すみません、これは個別で説明をしとるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○７番（田中立一君）

個別でやってるところと、区を通してやってるところとあると。鶉石地区に関しては個別でやったと。何件、いつやりました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

対象は１棟でございます。ただ、やはりそこについても、追加等を行う予定があるというふうにはお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○ 7 番（田中立一君）

鵜石のほうは後でまた伺いますけれども、先ほどの話の中で県の交通政策局長が現地を訪れたことについて伺いました。その後、24日に交通政策局の副局長と織田副市長は、長野事務所に訪れて要望書を提出されたというふうに先ほど聞きました。

この要望書ですけれども、県の報道資料を見ますと、ことし3月に開業した北陸新幹線について、糸魚川市柱道地区、下小見地区の住民の方から、車両がトンネルを通過する際の騒音が深刻であるとの苦情が寄せられたことを受け、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部、長野工事事務所に対して、速やかな処置を講じるよう要望したとありまして、そのことに関連しての新聞報道を見ますと、要望はトンネル本体の対策工事を早急を実施することと、家屋の騒音調査を実施して、補償について住民に十分説明することの2項目とありました。

この長野事務所を訪れたときのさらに詳しい内容があれば、その内容と、そのときの機構側の対応はいかがだったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

○ 副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

6月24日に鉄道・運輸機構の長野事務所へ行ってまいりました。そこでは今、ご質問にあった報道、大まかはそのとおりであります。

ただ、私のほうは、特に鉄道・運輸機構に対しまして誠意とスピード感を持って、早急に対応願いたいということを強く強調してまいりました。それに対しまして鉄道・運輸機構も誠心誠意、一生懸命やるということでもあります。ただ、その後の対応を見ますと、なかなかそうはいってないなというのが実感であります。

私も合併前は旧青海町で新幹線対策のほうを担当しましたんで、鉄道・運輸機構の体質については、ちょっと心配してるところでありまして、鉄道・運輸機構の体質につきましては、少し不信感も持っておりました。そういうことで早急に対応願いたいと、スピード感を持って対応願いたいということで要請したわけでありまして、対応がちょっと遅いような気がしております。その辺につきましては、また督促なりそういったもので対応したいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

田中議員。

○ 7 番（田中立一君）

副市長が鉄道・運輸機構に対して不信感、あるいは心配されている。住民はもっと心配してるし、毎日、毎日、直面しています。そういうのをいつ感じられたかわかりませんが、やっぱりすぐにそれを感じた時点において対策を講じてもらいたいし、また、住民に対する説明や出向くこと等を、重ねて言いますけれども、必要なんじゃないかなと。そういったことが住民にとっては、織田副市長が鉄道・運輸機構に感じたことを、行政にも今度は住民のほうでも感じてしまうわけです。

わ。その辺をしっかりと認識して、対応していただきたいと思います。

その新聞報道で長野事務所長、坂本所長に出された要望ですけれども、トンネル本体の対策工事が1項目に挙げられてましたけれども、県のほうで出されたその要望書の中のトンネル本体の対策工事というのは、どのようなもの指しているんでしょうか。具体的な内容を、わかればお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

トンネルの緩衝口をコンクリートで充填する、埋めるということと、それから吸音板の設置等を検討しておるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

それはその要望に行ったときにこのトンネル本体の対策工事について、具体的にこういうのをお願いしたいというふうに言って、事務所のほうでは、それを検討しているというふうに言ったということでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

そのときに、こちらからこういうふうにとりような要望ではなくて、それはあくまでも音源対策をしていただきたいということでございまして、その後、鉄道・運輸機構のほうでは、今言ったような対策を検討しておるということで、お聞きしておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

機構のほうでそれをやってくれるのは、またぜひやってもらいたいと思うわけですが、検討というのは一体いつまでされるのか。今現在、新幹線が通っているということもありますし、いろいろと制約があるんでしょうけれども、そういうのを聞いたら今度はいつごろやってくれるのか、どういう形でやっていくのかと説明を求めているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

やはり今、開業しとるということと、工事にも時間的な制約が課せられるということはお聞きし

ております。ただ、やはりいつごろまでということでお聞きはしておりますが、その明確な回答等は得られてはいないという状況でございます。

今の検討も、ただ埋めてしまえば、そこでいいかという、なかなかそういうものでもないというような、またほかに例えば問題が生じるおそれもあるので、総体的な中で、今、検討しとるといようなお話は、お聞きしてるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

やはりそういう経過も踏まえて住民に説明する機会というのは、やはり必要ですね。

それから、やはり検討しているんなら、その回答というか、中身、それからいつごろとかという、そういったことを含めて、再度、鉄道・運輸機構のほうに求めていく、必要なんじゃないでしょうか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

おっしゃるとおりでございますので、やはり鉄道・運輸機構のほうに、その辺ところも求めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

補償についてでありますけれども、この夏は大変暑くて、1つの住民の声なんですけれども、騒音に苦しむ住民の皆さん、窓も開けられないと、大変に困ってありました、想像がつくかと思いますが、補償の内容の中に、エアコンをつけられるという内容もあるということなんですけれども、今、騒音の測定調査の段階だから、補償のほうにまで話がいったいわけなんですけれども、生活にそれが耐えられないから、そんなん待てられないから、もうエアコンをつけたとか、そういう話も聞きます。

やはり切実な問題であるなと思いますし、また建物、あるいはその周辺への被害ということで、柱道地区のトンネル付近の家では、玄関に上がるコンクリートの階段がひび割れているとか、そういったものも玄関へ行くと見えます。恐らく目に見えないものやなんかもあるじゃないのかなと、そこに。そういうのをやはり市のほうでも把握してもらいたいなと思うんですけれども、そういったことはご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

○副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

柱道の現場につきましては、私も何回も行っておるんですけども、そういったコンクリートのひび割れとか、そこまでは気がつかなかったということでもあります。また早急に現場にまいりまして、早急にまたその辺について事情を聴取しますし、また、鉄道・運輸機構にも長野のほうへ出向いて行って、その辺につきまして誠実に、スピード感を持って対応するように督促をしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

先ほどの鵜石地区ですけれども、市役所に本人が連絡をしたら一度来てくれたと。鉄道・運輸機構の方も一緒に見えたというふうな話を私、聞きました。

住民の要望としては先ほどのように音さえ、あるいは振動さえ小さくなればいいんで、そういったことをやってくれる工事をしてもらいたいけれども、それはお金や時間のこともある。建物に対する補償のほうはじゃあどうなんだということで、できれば家の窓を二重サッシ等、そういったことにしてもらいたい。そういう話をしたところ、エアコン等はいいいんだけど二重サッシ等は、そういったのはできないんだよというふうに言われて、非常にショックだったというふうに聞いております。

私は他の地区での説明会、あるいは話を聞いていると、この補償に関する文書というものが、2次測定の調査のものとおわせて2部ほど配られているわけですが、そういう文書を見たことがないと、鵜石のほうは言っていました。

そちらのほうの下小見、あるいは柱道のほうの説明会では、そういう二重サッシ等の改修工事はオーケーだと言ってますよと言ったら、信じられないというような形なんですけれども、地域によってそういう差が出るというのは非常にまずいんじゃないかなと思うんですけども、その辺はご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

今の話についてはちょっと知り得ませんでしたので、そういう問題があればやはり鉄道・運輸機構側に不信感というのは、なお募っていくというふうに考えておりますので、そういうことがもしあったとしたら、そういうことは是正していただきたいですし、そういうことのないように要望と言いますか、それはもう強く言わなきゃいけないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

ぜひお願いしますし、あわせてそういう測定や、あるいは補償に関する文書、配布されているも

の、求められるところには皆さんに配布してもらいたいと思います。

その鶏石地区、お話聞いていると、3月に赤ちゃんが生まれて、家で静養と言いましょうか、生まれたばかりの赤ちゃんがいたわけですけど、寝るに寝れないと言いましょうか休めない、非常に困ったし、赤ちゃんに対する影響も心配していると。もともと予定しておったのかどうかは、私、ちょっと確認しませんでしたけれども、後で聞いたら6月に、そこを引っ越したというふうに聞いております。さっき言ったように、もともとそういうふうに予定してたのかどうかはわかりませんが、3カ月間の間、かなり深刻な状況だったようでありまして、想像にかたくなと思います。

やはり1軒、1軒、いろんな住民の事情というものがあって、そういったものに真摯に耳を傾けていく、そういったものが必要じゃないかなと思うんですけども、さらにこの付近のお話を聞いていますと、そのすぐ近くにトンネル工事のいろんな建物や、あるいは作業現場があったわけですね。四六時中、昼夜を問わず大型のトラックや重機が出入りしておりました。かなりその現場でいろんな話、うるさいという形であったわけですが、今回、これ開業後というふうに通告しましたけれども、建設現場における騒音や振動等、補償に対する対応というのは、鉄道・運輸機構側はあったんでしょうか。もし答えられるならお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

工事中の具体的な、今、議員がおっしゃられたような状況は聞いておりませんが、工事中、住民の周辺の皆さんに迷惑をかけないように工事をするということでの基本的な対応はしてきているというふうに思っておりますが、今おっしゃられたような具体的なものは、お聞きいたしていません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

何度も言うようにですけども、住民の立場に立ってと言いましょうか、そういう声をより拾って、鉄道・運輸機構のほうにはやっぱりそういう対応のあり方について、市のほうでも求めていってほしいなと思います。

沿線住民の騒音や振動以外による健康への影響、こういったことについて市はどう考えておられるのかなと。住民からは差し当たっての、そういうどこそこが悪いというのは私も聞いてはおりませんが、6月議会で私も微気圧波についても触れたりもしました。場合によっては、健康への被害もあるんじゃないかと思われます。もうストレスだけでも大変なものです。その辺のケアというのも大事じゃないかなと思うんですけども、考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

○副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

私も現場のほうへ行って当事者の方と時々会うんですけども、そういったことまでまだ、何と言いますか、健康被害があるというような情報は、まだ入手しておりません。その辺につきましても現場へ行かまして、また関係者と会って、その辺、直接きちんと声を聞きたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

よろしく願いいたします。

騒音、振動以外の苦情、問題点は先ほど答えていただきましたけれども、ほとんどみんな解決に向かって、あるいは解決されているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

先ほど市長が答弁で申し上げました電波障害については対策を現在実施して、おおむね完了するという状況でございます。

また、排水の苦情等につきましては、まだ現場のほうで対応がなされていないと。鉄道・運輸機構のほうへお伝えいたしましたが、まだ検討中の段階という状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

検討中がちょっと多いなというところなんですけれども、やはり排水のほう等も含めて早急な対応のほうを求めてもらいたいですし、私、聞き漏らしたかもしれませんが、日照権のことは言われなかったのかなと、日照権についてはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

日照権も建物の日陰だとか、それから農作物の日陰ということがあります。

これについては、建物については能生地域、糸魚川地域、青海地域、それぞれ対象になる物件があるということでございまして、その辺は補償等の話は進めておられて、補償済みになったところもございます。

それから農地、農作物の日陰補償についても、能生地域、糸魚川地域、青海地域、これもそれぞれございまして、これについては、今、補償費のほうを算定中だというふうにお聞きしております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

日照権の中で田んぼ等の日陰で作物が成り立たないと。もうことし作物は諦めたということで、その部分だけ稲を植えないで、いわゆる耕作放棄の形になっているところがあります。下小見地区なんですけれども、そういったところは把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

個々のところまでは、まだちょっと把握はしきれておりませんが、農作物の補償が対象になっておるといのは知っておりますけれども、個々までの、どの筆までとか、そういうものについては、ちょっとまだ把握はしていません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

新幹線が開業して、いろんな課題があるわけですが、ひとつスピード感を持ってというふうに先ほど言われましたけれども、本当にそのとおりで、ぜひ取り組みのほうをお願いして、次に入らせていただきます。

（2）の糸魚川駅の利用状況。

今回、独自調査をしていただいたということで、6月の議会のときにも一般質問で、このことをいろいろ聞いたわけなんですけれども、こういうのはやっぱりイベント時だとか、夏の繁忙期だとか、いろんなケースにおいて観光客の動向を把握するとか、いろんな面で大事なデータになるんじゃないかと思うんですけれども、今回、なぜ7月のそのときにされたか、その辺の分析についてはどうか。まず、その辺について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

JRのほうでは、乗降客については公表しないということできておったわけでございますが、7月のたしか8日だったですかね、一応、各駅の乗降客数が発表されまして、糸魚川については、たしか1日当たり400人というような報道がなされました。その報道を受けて、本当に実際、一番糸魚川駅が少なかったわけでございますので、本当にそういうのかどうなのかという、まず確かめたいというのも1つございますし、それから、やはり新幹線だけでなく、えちごトキめき鉄道もあり、大糸線もあり、その辺のところの総合的な乗降客だとか、そういうような動向を知ると

+

いうことは、やはり今後の例えば地域活性化だとか、観光振興だとか、そういうものにやはり必要なのではないかなということから、今回、新幹線について行ったということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

私も次にそういったことを聞こうかと思ったんですよね。やはりそのとおりだと思うんですよ。そのようなことを考えて、こういう独自調査をされたということは、その乗降客が今度、じゃあどのように流れていったかというのも、あわせてそのときされたんでしょうか。今回の調査というのは乗降客の数だけやったんでしょうか、どの範囲までされたかをお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

今回の調査につきましては乗降数のみでございまして、その後、どういうふうに流れたか、2次交通がどうなっているかということころまでは、調査はいたしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

隣の市や駅と比べるのも何かと思うんですけども、いろいろ報道を見たりして、もう何回かされたりして、そのデータを活用していくというふうにあるわけです。今後もこういった独自調査をやっていく意向があるのかどうか。その辺の考えと、今後の調査内容について、いろいろとまたさらに詳しくデータ分析するための材料としてやっていくのかどうか、その辺の考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

やはりJRのほうで公式に乗降客を発表しないとなれば、独自で調査をしていく必要があると思います。それについても新幹線を含めたほかのものも含めて総体的にやはり調査をし、どういうふうな形で、今後、生かしていけばいいのかというやはり基礎資料としては、必要なものだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

大事なことはないかなと思いますし、よろしくお願いします。

それから、次のほうの駅周辺の、あるいは駅の要望。私も椅子のことを言おうかなと思ったんですが、いろんな方から椅子の要望があります。今、この見通しはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

椅子のことについてはもう前々から言っておって、当初、ＪＲのほうでは、けががどうのこうのということで、ちょっと後ろ向きな発言があったわけですけども、最近、どちらかといいますと、取りつける方向で検討したいという回答をいただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○７番（田中立一君）

次に、えちごトキめき鉄道の通勤通学の混雑なんですけれども、緩和策を求めているということなんですけれども、今回、１０月１日に小幅なダイヤ改正があるのですけども、それに向けての動きというのはできなかったんでしょうか。あるいは、働きかけというものはされたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

働きかけについては、もう当初から行っております。今回、緩和策として車両の増結、それからもう１つ考えられるのが、今、快速で７時５９分発のものを１時間例えば早めると、通勤通学にも間に合うということで、その辺のところも一応、要望はしておりますが、今回の１０月のあれには入りませんでしたけども、大幅な改定については３月に行うというような話もお聞きしておりますので、何とかそれに間に合うように、また要望していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○７番（田中立一君）

もともと３両走っていたものが、１両になったり２両になったりということで、車両の増結というのは、結局、車両１両、あるいは２両をくっつけると。それに伴って１人か２人運転士か、あるいはそれに必要な人員が要るということなんでしょうけれども、えちごトキめき鉄道さんに、その増結する余裕というものはないということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

車両的には、４月の初めについては２両のものを３両で運行した時期がございました。ただ、え

+

ちごトキめき鉄道の言い分としては、予備車も使ったことから、それを全部使っているともう予備車がなくなって、例えば車両に何か故障があった場合に、そのところ全線、運休になってしまうというようなおそれもあることから、できるだけ予備車はとっておきたいというような意向から、今のところ2両になっというふうにはお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

予備車というのは何両あるか、そういった等の情報は把握されているのでしょうか。また、これはじゃあ4月になれば、その辺が改善される見込みというのはあるのでしょうか。その辺の情報の把握というのは、いかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

○副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

予備車は、車両は1台であります。したがって、それを使うと何かのときには対応できなくなるということであります。

それから、4月に3両編成でさせてもらいました。そのときに、えちごトキめき鉄道のほうでは乗客数を把握をしております。結局、3両にしましたけども2両の定員よりも少なかったということで、もう3両でなくて2両に復元をしたという状況であります。今後、予備車のほうも来年以降についてはふやす方向で、今、要請をしてるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

できるもんなら、時期というのはあるんでしょうけども、この10月のダイヤ改正で変わったのは、妙高はねうまラインのほうの接続時間があるわけですけども、ひすいラインのほうについても、いろんなこういった困り事について対応できたらなと期待しておったんですけども、ぜひ早く実現するようにお願いしたいと思います。

次、農業政策のことについて伺いますが、電気柵のことについて伺います。

水田や畑作物の鳥獣被害には電気柵は有効ということで、市でも助成して急速に普及しておるわけでございます。

ことしの7月に、電気柵に伴う痛ましい事故が発生して市でも緊急調査され、建設産業常任委員会でも報告がありました。その報告されたのは、助成対象となっている6万4,000メートルなんですけど、今、ホームセンターとかネットショップでも売られていて、手軽に購入できるようになっているわけですけども、そちらのほうの実態把握というのは、されているのかどうか伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

電気柵の市内の点検につきましては、先般、建設産業常任委員会でご報告申し上げたとおりであります。

ホームセンター等での購入につきましては、市のほうでは把握しきれておりません。ですがホームセンター等で設置された方々に向けての注意喚起は、広報等でお知らせをさせていただいておるという状況であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

どちらかという、こういう助成対象になっているのは管理がされているから、そんなに心配はしないんですけれども、心配するのはやはりそういったもののほうが、かえって心配になってくるわけです。今後、そういったことに対しての実態把握等をされる予定は、先ほどは広報で注意喚起はされているというんですけれども、実態把握をする予定というのは、検討されているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

今のところ、実態把握に向けての取り組みはしておりませんけれども、引き続き注意喚起については、努めてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

電気柵の効果と課題ということで、先ほど市長からも答弁をいただきました。そのとおりに、いろいろと労力のほうもなかなか大変だというふうに聞いておりますけれども、先ほどから話が出てます助成でありますけれども、条件としては個人というよりも集落などグループであることと、最低限の継続年数が設けられております。このことについて、いろいろと話を聞くわけなんですけれども、担当としてはどのように捉えておりますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

電気柵の設置基準につきましては、3戸以上の農家がまとまってという要件がございます。これ

+

は国のほうの補助制度の基準を、そのまま引用させていただきとるものであります。

平成28年度に向けまして電気柵の設置の要望を、今、各地区のほうから取りつけている時期でございますので、被害があつてからということではなくて予防的に先を見て、できるだけ手を挙げていただけるように、地区のほうへ出向いて話をしているという状況でございまして、その3戸の設置基準については、今のところ現行のまま進めたいということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

質問を1つ戻つてのほうになってしまうんですけれども、野生鳥獣に関してなかなか、被害や、あるいは頭数等いろいろと取り組んでいるんですけれども、効果がなかなか見られない。むしろイノシシとか非常にふえているというのが実態であります。

今回、取り上げた特定野生鳥獣の管理及び有効活用の推進条例、それから国のほうでもことしの5月には、改正の鳥獣保護管理法が施行されているわけであります。これからは、今までどちらかと言うと、野生鳥獣に関しては保護なら保護の担当、あるいは管理し、あるいは捕獲したりするのは、また別なほうでやってるとかいうふうにあるわけなんですけれども、今後は野生鳥獣の対策する保護と管理の一元化が求められている時代だというふうにも言われるんですけれども、その辺の取り組みというのは検討されているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

有害鳥獣対策につきましては、県、市、また警察、JA等と連携しながらやっているとございます。

議員ご指摘のとおり法律の趣旨が、今までは保護の部分からいわゆる管理ということで、個体数も減らすという部分も視野に入れた法律というふうに改正されております。

今までも鳥獣被害対策チームということで、先ほど申し上げた団体等で協議しながら対策をとってまいりましたし、今後もその団体が連携しながらやっていくという部分については、変わらないのかなというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田中議員。

○7番（田中立一君）

この野生鳥獣に関しては、非常に現場のほうでも苦慮しているところであります。実際、被害額等も700万円とかいろいろ挙がっておりますけれども、実際においては、もっと大きいんじゃないかなと思っております。ことしは人的被害もありました。ぜひ対応のほうをよろしく願いして、私の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（倉又 稔君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩をいたします。

再開を１３時、午後１時といたします。

午前１１時５２分 休憩

午後 １時００分 開議

○議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。〔１番 吉川慶一君登壇〕

○１番（吉川慶一君）

創生クラブの吉川慶一です。

１回目の質問を行います。よろしくお願いします。

１、北陸新幹線開業が市内に及ぼす影響について。

３月１４日に待望の北陸新幹線が開業し、５か月が経ちました。観光地の整備と状況、今後の観光客の誘客について伺います。

（１）北陸新幹線開業が地域観光にどのような影響を及ぼしたのか伺います。

糸魚川駅を利用する観光客の見込み数と実際の観光客数はどうでしたか。見込み数と実数でどのように考えていますか。

世界ジオパーク・糸魚川の観光地の整備状況と今後の計画について伺います。また、交流人口はどのように変化しましたか。

（２）観光客の反応について。

糸魚川市内の宿泊施設は少ないとお聞きしていますが、施設の現況と今後の都市計画について伺います。

観光客の声を活かすために、アンケートを行う予定はありますか。また、具体策はありますか。

（３）広域観光連携の具体的な計画をどのように考えていますか。また、近隣の自治体及び団体との新たな計画はありますか。

２、フォッサマグナの海底ジオラマについて。

糸魚川市近海は、起伏に富み、極めて複雑で険しい地形となっていますが、周辺の海に好漁場をもたらすような有益な特性ともなっています。市民の方がこのような海底の状況をジオラマで作成し、この度報道公開されました。